

平成30年度

事業報告書

一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

1 指定管理施設の運営事業

指定管理施設においては9月6日に発生した北海道胆振東部地震による被害対応及び避難所開設のためそれぞれ休館した。

(1) 札幌市体育施設の利用状況(単位:人)

ア 札幌市体育館グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
北区体育館	181,210	31,676	212,886
東区体育館	117,651	28,453	146,104
白石区体育館	148,070	30,024	178,094
厚別区体育館	127,942	34,616	162,558
清田区体育館・温水プール	211,716	23,842	235,558
体育館	135,438	23,823	159,261
プール	72,517	19	72,536
体育館・プール共通	3,761	—	3,761
豊平区体育館※1	50,404	31,488	81,892
南区体育館	124,283	19,022	143,305
西区体育館・温水プール	299,278	38,157	337,435
体育館	169,210	38,099	207,309
プール	126,823	58	126,881
体育館・プール共通	3,245	—	3,245
手稲区体育館	130,373	28,102	158,475
中央体育館	64,734	78,035	142,769
中島体育センター	97,576	29,913	127,489
宮の沢屋内競技場	21,038	23,529	44,567
白旗山競技場	2,060	18,734	20,794
合計	1,576,335 (前年度 1,629,873)	415,591 (前年度 450,914)	1,991,926 (前年度 2,080,787)

※1 札幌市における改修工事のため8月1日から1月25日の間休館(全館)

イ 札幌市温水プールグループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
厚別温水プール	126,923	2,399	129,322
豊平公園温水プール	78,764	1,453	80,217
平岸プール※2	71,699	12,692	84,391
白石温水プール	89,283	3,103	92,386
手稲曙温水プール	119,045	2,264	121,309
東温水プール※3	72,428	2,998	75,426
合計	558,142 (前年度 683,329)	24,909 (前年度 43,031)	583,051 (前年度 726,360)

※2 北海道胆振東部地震による天井保全工事のため9月6日から3月31日の間休館(全館)

※3 札幌市における改修工事のため10月1日から3月31日の間休館(全館)

ウ 札幌市美香保体育館

施設名		個人利用	専用利用	合計
美香保体育館		40,008	93,768	133,776
	体育館	9,910	40,084	49,994
	スケート場	30,098	9,707	39,805
	公園野球場	—	43,977	43,977
合	計	40,008 (前年度 39,917)	93,768 (前年度 90,107)	133,776 (前年度 130,024)

エ 札幌市スケート施設グループ

施設名		個人利用	専用利用	合計
月寒体育館		65,872	62,376	128,248
	体育館	33,214	—	33,214
	スケート場 ^{※4}	32,658	62,376	95,034
月寒屋外競技場		795	16,847	17,642
	ラグビー場	—	9,223	9,223
	庭球場	—	7,271	7,271
	弓道場	795	353	1,148
星置スケート場		15,097	34,066	49,163
どうぎんカーリングスタジアム		—	59,366	59,366
合	計	81,764 (前年度 91,206)	172,655 (前年度 148,752)	254,419 (前年度 239,958)

※4 札幌市における冷凍設備修繕のため5月20日から6月30日の間休止

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施設名		個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場		23,254	309,297	332,551
	野球場	—	175,968	175,968
	陸上競技場	14,730	67,959	82,689
	庭球場	—	59,806	59,806
	補助競技場	—	5,564	5,564
	スケート場	8,524	—	8,524
麻生球場		—	61,857	61,857
	野球場	—	59,124	59,124
	庭球場	—	2,733	2,733
平岸庭球場		—	40,557	40,557
厚別公園		52,620	183,133	235,753
	主競技場 ^{※5}	32,216	170,323	202,539

	補助競技場	2,515	12,810	15,325
	トレーニングルーム	17,889	—	17,889
合	計	75,874 (前年度 79,006)	594,844 (前年度 474,915)	670,718 (前年度 553,921)

※5 平成 30 年度より専用利用人数に観客数を含めて集計

カ 札幌市スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計	
スポーツ交流施設	93,746	1,107,886	1,201,632	
屋内グラウンド ^{※6}	79,345	1,082,313	1,161,658	
屋外テニスコート ^{※7}	—	7,344	7,344	
パークゴルフ場	14,401	—	14,401	
屋外球技場	—	4,633	4,633	
イベント広場	—	13,596	13,596	
合	計	93,746 (前年度 100,241)	1,107,886 (前年度 988,700)	1,201,632 (前年度 1,088,941)

※6 札幌市における保全改修工事のため 9 月 1 日から 9 月 30 日の間休止

※7 札幌市における保全改修工事のため 10 月 1 日から 11 月 3 日の間休止

キ 札幌市藤野野外スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計	
藤野野外スポーツ交流施設	790,317	965	791,282	
夏季利用 ^{※8}	2,645	—	2,645	
スキー場	787,672	—	787,672	
リュージュ競技場	—	965	965	
合	計	790,317 (前年度 808,029)	965 (前年度 878)	791,282 (前年度 808,907)

※8 熊出没のため、6 月 24 日から 8 月 9 日の間休止

(単位：人)

体育施設合計	5,626,804 (前年度 5,628,898)
--------	------------------------------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況 (単位：人)

施設名	個人利用	専用利用	合計	
中央健康づくりセンター	123,993	—	123,993	
西健康づくりセンター	153,931	—	153,931	
東健康づくりセンター	55,764	—	55,764	
合	計	333,688 (前年度 337,795)	— (前年度 —)	333,688 (前年度 337,795)

(3) 札幌国際交流館の利用状況（単位：人）

施設名	個人利用	専用利用	合計
国際交流館	78,143	26,154	104,297
プール	49,830	0	49,830
体育室	28,262	6,368	34,630
総合	51	—	51
ライラックホール	—	19,786	19,786
合計	78,143 (前年度 80,737)	26,154 (前年度 23,412)	104,297 (前年度 104,149)

全施設合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	6,064,789
前年度利用者数	6,070,842
増減	△6,053

2 学校施設の開放事業/受託事業

(1) センター管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	170	33	14	16	233
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	615,110 (前年度 613,673)	14,577 (前年度 21,758)	13,912 (前年度 15,776)	23,558 (前年度 23,332)	667,157 (前年度 674,539)

(2) 自主管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	111	2	113
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	661,932 (前年度 667,160)	2,735 (前年度 1,769)	664,667 (前年度 668,929)

(3) プール開放の利用状況（単位：人）

施設区分	プール
開放校数	194
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	37,603 (前年度 63,300)

学校施設の開放合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	1,369,427
前年度利用者数	1,406,768
増減	△37,341

3 地域スポーツ普及振興事業 (5,947 事業 130,527 人)

(1) スポーツ教室事業 (5,734 事業 91,918 人)

各施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「バドミントン教室」や「フットサル教室」などの球技系種目のほか、幼児向けの「体操教室」や、小学生向けの「ダンス教室」などを実施し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、会社勤めの成人にも参加いただけるように「ナイトヨガ」などのフィットネス教室を実施したほか、「健康体操」や「水中ウォーキング教室」など高齢者がスポーツをはじめのきっかけとなるプログラムの実施 (5,546 事業 81,003 人)、健康づくりセンターとの連携事業として Inbody での体組成測定と講話及び実技による健康セミナーを実施した (1 事業 7 人)。

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との「げんきキッズ」や日本ランニング機構との「さっぽろ・アスレティクスアカデミー」などのスクール事業 (69 事業 1,037 人) を継続実施するとともに、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」や「バドミントン教室」 (7 事業 106 人)、「カーリング」や「アイスホッケー」などのウインタースポーツ活性化のための教室 (110 事業 9,736 人)、東区の複数施設を利用する施設間合同事業「わくわくスポーツ倶楽部」 (1 事業 29 人) など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

(2) スポーツ大会、スポーツイベント事業 (123 事業 25,142 人)

各施設において、「体育の日無料開放」や「さっぽろスポーツ DAY*」の無料開放 (46 事業 15,849 人)をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となるバドミントンや卓球、フットサルなどの多種多様なスポーツ大会、ダンス発表会やプールフェスタなどのイベント事業を開催した (51 事業 5,630 人)。

また、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的に、スポーツ教室受講生を対象とした大会や、供用時間外に行う朝野球大会、スポーツナイトリーグなど、複数の管理施設合同の事業 (15 事業 1,840 人) やウインターレクリエーション活性化のための大会、イベント (11 事業 1,823 人) を開催した。

*さっぽろスポーツ DAY は、市民の皆さまが健康とスポーツへの関心を深め、スポーツや健康づくりのきっかけとなるよう、当財団 30 周年を契機に管理施設において、毎年 5 月 5 日を「スポーツ・健康づくりの日」として一斉に実施。

(3) スポーツキャラバン事業 (51 事業 2,398 人)

町内会及び PTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、スポーツ用具の貸し出しなどを行った。

ア イベント運営請負 (地域イベントにおけるスポーツ体験コーナーの運営) 3 事業 342 人。

イ 出前講習会 (民間企業などにおける体組成測定の実施) 5 事業 212 人。

ウ 指導員派遣 (保健センターなどの講座への指導員派遣) 10 事業 1,844 人。

エ ニューススポーツ用具のレンタル (ストラックアウトなどのレクリエーション用具を市民に貸し出し) 33 事業。

(4) 歩くスキー常設コース事業/受託事業 (2 事業 白旗山 1,815 人/中島公園 6,067 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

(5) ウォーキングステーション事業 (5 事業 14 コース 801 人)

管理 5 施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟 (IWV) のイヤラウンドコースを設置し、距離の認定を行った。

(6) ウィンタースポーツ塾「カーリング&スケート体験会」 (1 事業 2 種目 279 人)

札幌市からの受託事業として小学生を対象にウインタースポーツ種目 2 種目 (カーリング・スピードスケート) の無料体験会を実施した。

(7) ウィンタースポーツ塾（1事業 6種目 643人）

札幌市からの受託事業として小学生を対象に3日間に渡りウィンタースポーツ6種目（クロスカン트리スキー・スキージャンプ・スノーボード・カーリング・フィギュアスケート・リュージュ）の体験会を実施し、企画・運営を担った。

(8) 障がい者スポーツの普及促進事業（30事業 1,464人）

札幌市や一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会などの関係団体と連携して、障がい者スポーツの普及促進を図るため、札幌市からの受託事業のほか、パラスポーツ理解促進のイベントなどへの共催や水泳学習への指導員派遣による支援など、事業開催・運営、障がい者スポーツ実践までを広くサポートする取組みを実施した。

ア 区体育館における専用利用モニター・体験会（受託事業／20事業 489人）

イ 中島体育センター・藤野野外スポーツ交流施設における冬季障がい者スポーツ指導者養成講習会及び体験会（受託事業／5事業 39人）

ウ 月寒体育館・月寒屋外競技場・どうぎんカーリングスタジアムにおける冬季パラスポーツ体験会（受託事業／1事業 747人）

エ 北区体育館におけるパラスポーツ理解促進イベントの共催（1事業 103人）

オ 北区体育館における電動車いすサッカー大会の共催（1事業 15人）

カ 水泳学習への支援（市内小学校に水泳指導員を3回派遣、1事業 3人）

キ 西区体育館・温水プールにおける北海道障がい者スポーツ学生フォーラムの共催（1事業 68人）

4 健康・体づくり相談事業（健康づくりセンター 591事業 81,522人）

(1) 健康増進・運動指導事業／指定管理事業（66事業 68,651人）

ア 健康増進・健診事業（8事業 6,785人）

健康状態の把握に必要な検査と体力測定及びこれに基づき生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」を行った（4事業 1,583人）。

また、健康診断を受ける機会が少ない18歳から39歳の女性を対象とした「女性のフレッシュ健診」や、保健師、管理栄養士、理学療法士が専門的立場から利用者への相談及び指導を行った（4事業 5,202人）。

イ 運動指導事業（58事業 61,866人）

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにおける運動機器の利用指導、「エアロビクス」、「筋トレ」などの自由参加プログラム、「ウォーキング講習」など（32事業 60,055人）、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行った（3事業 1,211人）。

また、各区保健センター主催の生活習慣病予防教室への運動指導員派遣や地域で自主的に健康づくりに取り組むグループなどへ運動実践のためのアドバイスなどを行った（23事業 600人）。

(2) 健診・指導業務／受託事業（10事業 574人）

ア 健診事業（3事業 414人）

中央健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」及び「緊急肝炎ウイルス検査」を行った。

イ 指導業務（7事業 160人）

国保加入の特定健康診査受診者で「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的とした保健・栄養・運動の指導を行った。

また、上記の特定保健指導参加者で「運動お試し券」を持参された方に個別運動指導を行った。

(3) 健康づくり活動の支援事業など／自主事業 (515 事業 12,297 人)

健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講座 (371 事業 8,393 人) のほか、子どもの体力・運動能力などの向上と、高齢者の健康維持や運動機能向上、生きがいつくり支援のための各種教室 (78 事業 1,030 人) を行った。

また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、運動の実技指導や健康講座などを行ったほか、健康度測定受診者対象のオプション検査等の実施や運動指導従事者等を対象とした研修会などを開催した (66 事業 2,874 人)。

5 国際交流推進事業 (296 事業 8,583 人)

(1) 国際交流事業／指定管理事業 (23 事業 5,220 人)

札幌国際交流館において、留学生や JICA 研修員などの外国人とのスポーツ交流会「白石区子どもワンダーランド」や「世界ふれあいひろば」を開催したほか、「Japan カルチャーデー」や「お正月を楽しもう」などの文化交流会、新規事業として、ウインタースポーツを通じ留学生や JICA 研修員と交流できる「Let's ウインタースポーツ (カーリング体験)」を開催するなど、JICA 北海道や公益財団法人札幌国際プラザ、白石区などと共催し、市民と外国人がスポーツ・文化活動などを通じて相互理解及び親善を深め、国際交流を推進する事業を実施した。

(2) スポーツ教室事業など (273 事業 3,363 人)

技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、テニス教室をはじめとする各種競技種目や、「ヨガ」「ZUMBA」などフィットネス教室、また小学生を対象とした「かけっこ教室」などを開催し、市民に継続的な運動の機会を提供した。

6 地域コミュニティ活性化事業 (55 事業 13,950 人)

区役所、商店街組合、町内会などと連携し「ウインタースポーツフェスタ in 大倉山」や「新さっぽろ冬まつり」、「ひがしく健康・スポーツまつり」など地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、海水浴シーズンに併せた「こどものための安全遊泳体験会」や地域防災力を高めることを目的とした「イザ! カエルキャラバン in 清田」などの啓発事業を実施した (指定管理施設内: 37 事業 10,367 人、指定管理施設外: 18 事業 3,583 人)。

7 情報提供及び調査研究事業

(1) イベント・教室などの募集情報の提供

新聞折り込み広告、地域ミニコミ誌、ローカル FM 局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツ及び国際交流に関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した (北海道新聞折り込み広告、日刊スポーツ新聞紙面広告、ふりっぱー、北海道ランニングガイドなど)。

(2) 財団広報誌「ヘルス&スポーツライフ」の発行

健康・スポーツ及び国際交流情報を広く提供するため、「ヘルス&スポーツライフ」(Health & Sports Life: 年 4 回、各 10,000 部) を発行した。

誌面には、札幌市を拠点に活躍するトップアスリートの特集インタビューを掲載した。

ア 112 号～空手道 千田 裕也・阿部 夕姫

イ 113 号～マウンテンバイク クロスカントリー 黒瀬 文也・穴田 玖舟

ウ 114 号～北海道コンサドーレ札幌 カーリングチーム

エ 115 号～北ガスアリーナ札幌 46 オープン記念特集 フットサル エスポラーダ北海道

(3) 財団ホームページにおける情報の提供

年齢や障がいの有無に関らず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティ方針を策定しホームページに公開するとともに、アクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠した。

また、北ガスアリーナ札幌 46 のホームページを新設し、オープン日カウントダウンを行うなど機運を高めた。

(4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査研究を行い、医科学的根拠を持った情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。

8 スポーツ大会・イベントの開催(12事業 58,000人)

(1) 第41回北海道を歩こう

札幌市立真駒内中学校をスタートし、真駒内カントリークラブまでの10kmコースと支笏湖ポロピナイまでの33kmコースのほか、北海道命名150年・朝日新聞創刊140周年を記念し、定山溪までの20kmコースを単年開催した。初夏の北海道を満喫するウォーキングイベント

開催日：5月27日(日)

会場：真駒内中学校

種目：10km、20km、33km

参加人数：1,453人

(2) 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム 2018

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソン。

開催日：7月8日(日)

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195kmリレーマラソン

参加者数：1,145チーム 10,033人

(3) 第43回札幌マラソン

北日本最大級の市民ハーフマラソン大会。ハーフマラソン及び10kmは公益財団法人日本陸上競技連盟公認コース。※台風接近による強風等の影響を懸念し、参加者やボランティア等の安全確保を最優先に考慮し中止。

開催日：10月7日(日)

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム他

種目：ハーフマラソン、10km、5km(オープン・車イス)、中学生(3km)、小学生(3・2km)、ファンペア(3・2km)、車イスオープン1km

(4) 第39回札幌国際スキーマラソン大会

クロスカントリースキーの普及を図る国際連盟「ワールドロペット」に加盟する国内唯一の大会。海外からも多くの参加を受け、国際色豊かな大会となった。

開催日：2月3日(日)

会場：札幌ドーム、旧西岡オリンピック記念競技場を含む周辺コース

種目：スキーマラソン50km・25km、歩くスキー11km・5km・3km、キッズチャレンジ100m

参加者数：1,686人

(5) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア 第12回さっぽろトリム&ラン(6月10日)参加者数：720人

イ 第22回北の都札幌ツデーウォーク(6月23日・24日)参加者数：2,800人

- ウ 2018 札幌 30K（7月7日）参加者数：730人
- エ 第43回札幌小学生陸上競技教室（8月4日）参加者数：123人
- オ 北海道マラソン2018（8月26日）参加者数：21,180人
- カ 北海道ハイテクAC第9回札幌小学生陸上競技クリニック（12月23日）参加者数：53人
- キ 大通公園ウインタースポーツフェスティバル（2月23日）来場者数：18,000人
- ク 平成31年札幌市室内陸上競技大会（3月17日）参加者数：1,222人

9 物品販売・貸付及び飲食店業

売店、自動販売機、コインロッカー、ドライヤー、レストラン、スポーツ用具貸出を実施した。

10 その他事業

(1) 関係団体との連携・協力事業

ア 「スポーツ・フォー・トゥモロー」コンソーシアムの登録

登録会員としての認定事業である札幌国際スキーマラソン大会などにおいて、PR活動を実施したほか、競技規則の変更等により当財団所管施設で使用が出来なくなったスポーツ用品を発展途上国へ提供した。

イ 「さっぽろグローバルスポーツコミッション」への参画

札幌の豊富なスポーツ資源を最大限に活用することにより、国際大会や事前合宿、スポーツイベントの誘致を目指す「さっぽろグローバルスポーツコミッション」の運営に参画し、国内外へ国際都市札幌の魅力を発信するとともに、インバウンド振興など交流人口の拡大に協力した。

ウ 札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市のスポーツ行政推進への協力として、障がい者スポーツ普及促進における基本的な方向性と実現に向けた方策を協議する場である同協議会に参画した（6月・11月・3月開催）。

エ 北海道歩くスキー協議会の運営

北海道内の歩くスキー、クロスカントリースキー15大会が加盟する同協議会の事務局を担い、大会相互の連携と発展を図った。

オ スポーツボランティアの育成支援

スポーツイベントの活性化を図るため、NPO法人日本スポーツボランティアネットワークに加盟し、「公開講座（オリンピック・パラリンピックボランティア活動報告）」、「スポーツボランティア研修会」を開催した。

また、財団ホームページにおいて道内のスポーツボランティア募集情報を随時掲載し、人材確保を支援した。

カ 「事業連携包括協定」の締結

北翔大学との間で、学生が札幌マラソンなどの運営に携わる「事業連携包括協定」により、各種大会の運営に学生が携わった。北海道を歩こう、北の都札幌ツーデーウオーク、札幌30K、6時間リレーマラソン、札幌国際スキーマラソン大会の5事業に、計127人が従事した。

また、協働事業として、北翔大学が運動プログラムの検証・分析を行う「げんきキッズ教室」を8施設で実施した。

キ スポーツ指導者及び施設運営管理者の育成

公益財団法人日本体育施設協会及び順天堂大学との連携による「体育施設管理士養成講習会（43人参加）」、一般社団法人幼少年体育指導士会との連携による「幼少年体育指導士認定講座（63人参加）」を開催し、健康・スポーツ施設の運営管理者及び指導者を育成した。

ク プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

(ア) 北海道コンサドーレ札幌

- a クラブパートナー契約の締結
- b 協働事業として、通年で様々なスポーツ体験を行う「スポーツスクール in Fu' s」を実施

(イ) エスポラーダ北海道

- a オフィシャルパートナー契約の締結
- b 中央体育館にて女子フットサルスクールを協働開催、その他 6 施設で SHSF フットサル教室を協働開催

(ウ) レバンガ北海道

- a オフィシャルスポンサー契約の締結
- b 協働事業として、バスケット交流戦（体育館グループ合同事業）を開催

ケ 職員の派遣、役員就任など

札幌市スポーツ局スポーツ部（1 名）、一般財団法人札幌市体育協会（1 名）へ職員派遣を行い、団体の活動を支援した。

また、「さっぽろグローバルスポーツコミッション委員」など、委員への就任による運営協力、「第 47 回全道少年野球大会」、「はまなす車いすマラソン 2018」などのスポーツ大会の後援（70 事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

コ 高等教育機関と連携したデザインの制作

札幌市立大学デザイン学科と連携し、各施設で作成する配布物のデザイン向上に取り組んだほか、チラシ作成の内部研修を実施した。

(2) 社会貢献及び環境美化活動

ア 環境保全活動

植栽などの実施、ペットボトルキャップの回収（回収累計 25,901 キログラム）、環境教育へのクリック募金への協力（寄付金額 240,000 円）、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」への登録など、環境保全活動に積極的に協力した。

イ 地域防犯活動

地域における防犯・安全活動への協力として、31 施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども 110 番の店として防犯活動を推進した。

また、連合町内会及び警察署などに協力し、地域における交通安全啓発運動に協力した（月寒体育館、どうぎんカーリングスタジアム、藤野野外スポーツ交流施設）。

ウ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。また、札幌市水上安全赤十字奉仕団との協働による「こどものための安全遊泳体験会」や日本公共スポーツ施策推進協議会公認の「いのちの教室」を開催するなど、地域の安全・安心なスポーツ活動の実施に協力した。

エ インターンシップなどの推進

インターンシップや職場体験学習を積極的に受け入れ、学生や産業界などの活動を支援した（受け入れ件数：123 件、延べ人数：1,125 人）。

オ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援 B 型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

カ さぼーとほっと基金への寄付

各施設に設置の自動販売機売り上げに係る手数料収入の一部を「さぼーとほっと基金」に寄付し、自動販売機及び当財団ホームページにおいて周知をした。

キ 募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金（募金額：82,840円）及び北海道胆振東部地震災害義援金（募金額：96,181円）、東日本大震災復興支援募金（募金額：平成30年度分26,970円、累計1,755,351円）、熊本地震災害救援募金（募金額：平成30年度50,456円、累計429,408円）などに協力した。

ク 献血への協力

「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

11 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	6,064,789
学校施設の開放事業（講習会など含む）	1,369,427
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	64,046
地域関係団体・機関との連携事業（指定管理施設外）	3,583
合 計	7,501,845 (前年度7,559,084)
増 減	△57,239

(2) 収支

収 入 4,237,526,129円

経 費 4,195,775,387円

12 処務の概況

(1) 平成30年度末理事・監事・評議員

役 職	氏 名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
理 事 長	二木 一重	29. 6. 29	29. 6. 29	常 勤
常務理事	上野 輝佳	29. 6. 29	29. 6. 29	常 勤
常務理事	星 満	25. 4. 1	29. 6. 29	常 勤
理 事	村上 猛	25. 4. 1	29. 6. 29	常 勤
理 事	廣原 克博	25. 4. 1	29. 6. 29	常 勤
理 事	川島 行雄	27. 6. 26	29. 6. 29	常 勤
監 事	水野 克也	24. 7. 1	29. 6. 29	非常勤
監 事	高間 亨	30. 6. 27	30. 6. 27	非常勤

評議員	小田原 史佳	30. 6. 27	30. 6. 27	非常勤
評議員	川初 清典	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評議員	黒島 隆一	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評議員	富田 秀則	28. 7. 1	28. 7. 1	非常勤
評議員	晴山 紫恵子	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評議員	堀田 真理	29. 6. 29	29. 6. 29	非常勤
評議員	柳原 正明	28. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評議員	山田 一八	30. 6. 27	30. 6. 27	非常勤

(2) 平成 30 年度末職員数

職種／性別	男 性	女 性	合 計
正 職 員	119 人	37 人	156 人
嘱 託 職 員	53 人	55 人	108 人
臨 時 職 員	26 人	3 人	29 人
パート職員	210 人	396 人	606 人
合 計	408 人	491 人	899 人

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア 理事会

開催年月日	議事事項
第 1 回 平成 30 年 6 月 11 日	(1) 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告について (2) 第 2 号議案 平成 29 年度決算（監査報告）について (3) 第 3 号議案 平成 29 年度公益目的支出計画実施報告について (4) 第 4 号議案 平成 30 年度スポーツ振興くじ助成金交付内定に伴う誓約書の提出について (5) 第 5 号議案 監事の辞任に伴う新監事候補者名簿の承認について (6) 第 6 号議案 定款の変更について (7) 第 7 号議案 細則の一部改正について (8) 第 8 号議案 平成 30 年度定時評議員会の開催について
第 2 回 平成 30 年 6 月 27 日	(1) 第 1 号議案 平成 30 年度収支予算の変更について (2) 第 2 号議案 諸規程の改正について (3) 職務執行状況報告
第 3 回 平成 30 年 11 月 1 日	(1) 第 1 号議案 諸規程の改正について (2) 職務執行状況報告
第 4 回 平成 31 年 3 月 8 日	(1) 第 1 号議案 平成 30 年度収支予算の変更について (2) 職務執行状況報告
第 5 回 平成 31 年 3 月 28 日	(1) 第 1 号議案 平成 31 年度事業計画について (2) 第 2 号議案 平成 31 年度収支予算について (3) 第 3 号議案 諸規程の改正について (4) 第 4 号議案 一般財団法人札幌市体育協会との統合の検討について

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
定時評議員会 平成 30 年 6 月 27 日	(1) 平成 29 年度事業報告について (2) 平成 29 年度公益目的支出計画実施報告について (3) 出捐金の返還について (4) 第 1 号議案 平成 29 年度決算及び監査報告について (5) 第 2 号議案 評議員の選任について (6) 第 3 号議案 監事の選任について (7) 第 4 号議案 定款の変更について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移 (単位：千円)

	26 年 3 月期	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期
経 常 収 益	4,001,857	4,210,755	4,302,253	4,348,979	4,371,925	4,237,526
経 常 費 用	4,147,978	4,148,763	4,110,747	4,104,954	4,275,598	4,195,775
当期経常増減額	△146,121	61,992	191,506	244,025	96,327	41,751
経 常 外 費 用	-	-	-	-	1,517	205
法 人 税 等	520	13,413	73,080	77,484	12,497	19,887
当期一般正味財産増減額	△146,641	48,579	118,426	166,541	82,313	21,659
期首一般正味財産増減額	1,171,435	1,024,793	1,073,373	1,191,801	1,358,342	1,440,655
期末一般正味財産額	1,024,793	1,073,373	1,191,801	1,358,342	1,440,655	1,462,314
期 末 正 味 財 産 額	1,044,793	1,093,373	1,211,801	1,378,342	1,460,655	1,482,314
資 産 合 計	2,440,385	2,675,388	2,836,470	3,003,222	3,053,332	2,994,717
負 債 合 計	1,395,591	1,582,015	1,624,669	1,624,880	1,592,677	1,512,403
正 味 財 産	1,044,794	1,093,373	1,211,801	1,378,342	1,460,655	1,482,314

(5) 公認会計士の関与の有無

会計事務所との監査契約に基づき、年 3 回の監査と指導・相談を受けている。